

自国削減目標表明国：先進国 20 カ国・地域（EU 加盟国を入れると 42 カ国）、新興国・途上国 121 カ国・地域
 先進国、新興国、新興国・途上国(ABC 順)、新興国・途上国(目標種類別)の順に記載。

表 1 先進国の中期気候目標に関する見解（簡略版）

国・地域	CO2 排出割合(2013)	2020 年目標 ^{*1}	2025 年目標	2030 年目標	2050 年目標	全球気温上昇抑制
スウェーデン ^{*1}	0.13%	▲40%			▲100%	工業化前比 2°C未満
デンマーク ^{*1}	0.12%	▲40%				工業化前比 2°C未満
ドイツ ^{*1}	2.2%	▲40% ^{*2}		▲55%	▲80~95%	工業化前比 2°C未満
イギリス ^{*1}	1.4%	▲35%	▲50%		▲80%	工業化前比 2°C未満
スイス	0.12%	▲30% ^{*2*4}	▲35%	▲50% ^{*4*5}	▲70~85%	2°C未満
モナコ	0.001%	▲30%	▲40% ^{*3*6}	▲50% ^{*3*6}	▲100%	工業化前比 2°C未満 可能なら 1.5°C未満
ノルウェー	0.17%	▲30% ^{*4}		▲40% ^{*4*6}	▲100%	工業化前比 2°C未満
EU ^{*7}	10.2%	▲30% ^{*2*4*5}		▲40% ^{*4*6}	▲80% ^{*11}	工業化前比 2°C未満
アイスランド	0.006%	▲30% ^{*4*11}		▲40%	▲50~75% ^{*11}	工業化前比 2°C未満
リヒテンシュタイン	0.001%	▲30% ^{*2*3}		▲40%		
フランス ^{*1}	1.0%	▲20%		▲40%	▲75%	工業化前比 2°C未満
オーストラリア	1.0%	(▲6%) ^{*4*15}		(▲20~▲22%) ^{*4*14*15}		*14
ロシア ^{*10}	5.3%	▲25% ^{*9}		▲25~▲30% ^{*4*6}		2°C未満
ウクライナ	0.9%	▲20% ^{*9}		▲40% ^{*9}		
カザフスタン	0.9%	▲7% ^{*9}		▲25% ^{*17}		2°C未満
ベラルーシ	0.18%	▲8% ^{*4*9}		▲28% ^{*4*9}		
アメリカ ^{*10}	15.4%	▲3% ^{*8}	▲14~16% ^{*4*6}	▲34% ^{*11}	▲77%	2°C未満
日本 ^{*10}	3.7%	+3% ^{*8*11*12}		▲18% ^{*4*13}	▲80% ^{*11}	
カナダ ^{*10}	1.5%	+3% ^{*8}		▲13% ^{*4}		
NZ ^{*10}	0.10%	▲5% ^{*16}		▲11%	▲50%	工業化前比 2°C未満

※目標は 1990 年比で記載。1990 年以外の基準年を提案している国については、各国が条約事務局に提出している排出目録をもとに、各国目標が土地利用変化・森林起源の排出・吸収を含む・含まないに関わらず、土地利用変化・森林起源の排出・吸収を除いた温室効果ガス排出量により 1990 年比に換算（オーストラリア以外。注 15 参照）。トルコは新興国途上国の表に記載。

※下線は約束草案提出国。あるいは当該国が加盟している地域経済機関(EU)が提出。

*1 EU 加盟国。EU は加盟国（現在 28 カ国）全体の目標をこれとは別に提案。

*2 国際合意前提。

*3 土地利用変化、森林起源を除く。

*4 土地利用変化、森林吸収を含む。

*5 海外クレジット購入、海外削減を含む。

*6 海外クレジットなどを除く。

*7 EU 加盟国全体の目標。

*8 京都議定書第一約束期間(2008-12 年)目標よりも 2020 年排出量が増加することを意味する。

*9 旧ソ連諸国は 1990 年代前半の経済停滞で温室効果ガス排出量が 2012 年までに 1990 年より大きく減っている。各国の 2020 年、2030 年目標は今後の増加を許容することを意味する。

*10 アメリカは京都議定書に合意したが未批准。カナダは 2012 年 12 月に京都議定書を脱退した。また、日本、ロシア、ニュージーランドは京都議定書の第二約束期間(2013~2020 年)目標を拒否した。

*11 約束草案には書かれていない。

*12 暫定目標。なお日本政府は 2009 年の国連気候変動サミットで 2020 年に温室効果ガス 25%削減(1990 年比)を国際公約、地球温暖化対策基本法案(閣議決定し内閣が国会上程)で、国際合意を前提としながら 2020 年に温室効果ガス 25%削減(1990 年比)を規定していた。

*13 森林吸収約 3%分(吸収純増ではない)を含む

*14 政府委員会勧告では 2025 年に 1990 年比 30%削減、2030 年に 1990 年比 41~60%削減(いずれも土地利用変化排出を含む)、気温上昇 2 度未満を前提にしていた。

*15()内は土地利用変化・森林を含む温室効果ガス排出量の 1990 年比換算。なお、オーストラリアは京都議定書基準年(1990 年)の土地利用変化・森林部門が排出になっている。

*16 COP15 にむけ、国際合意がある場合▲10~▲20%削減を提案していた。

*17 国際的投資、技術移転前提。

表2 新興国の中期気候目標に関する見解（簡略版、総排出量順）

国	世界のCO ₂ 排出割合	目標種類	目標				全球気温上昇抑制	備考
			2020	2025	2030	2050		
中国	29.3%	排出ピーク GDP比CO ₂	▲40~▲45%*5 (05年比)		2030年まで ▲60~▲65%*6 (05年比)		2°C抑制のための 行動と位置づけ*7	
インド	7.1%	GDP比CO ₂	▲20~▲25%*6*7 (05年比)		▲33~▲35% (05年比)			
韓国*13	1.8%	BaU比	▲30%		▲37%*14		工業化前比2°C抑制	
イラン	1.8%	BaU比			▲12%*11		支援がなければ▲4%	
インドネシア	1.4%	BaU比	▲41%*10*11		▲41%*10*11		2°C抑制 支援がなければ▲29%	
ブラジル	1.4%	総量目標		▲37% (05年比)	▲42% (05年比)		工業化前比2°C抑制	
メキシコ*13	1.4%	BaU比	▲30%*11		▲40%*11*15		2°C抑制 含ブラックカーボン	
南アフリカ	1.3%	排出ピーク BaU比*7	2020-2025年 ▲34%*7		▲42%*7		工業化前比2°C抑制 可能なら1.5°C抑制	
タイ	1.0%	BaU比			▲25%*11		支援がなければ▲20%	
トルコ*13	1.0%	BaU比			▲21%*11			
(台湾)	0.8%	総量目標	2016-20に0%(2008比)	0%(2000比)		▲50%(2000比)	気候変動枠組条約未加入	
マレーシア	0.7%	GDP比CO ₂	▲40%(05年比)		▲45%(05年比)		支援がなければ▲35%	
ヴェネズエラ	0.7%	BaU比			▲20%			
UAE(アラブ首 長国連邦)	0.5%	再エネ割合 (エネルギー)		2021年に 24%			排出量目標なし	
チリ*13	0.3%	GDP比CO ₂			▲35~45%*11*16 (07年比)		支援がなければ▲ 30%。森林は別目標。	
イスラエル*13	0.2%	人口比		▲15%(05年比)	▲26%(05年比)			
シンガポール	0.05%	排出ピーク GDP比 BaU比			2030年 ▲36%(05年比)*9			

目標は、とくにことわらない限り温室効果ガス排出量の削減率、下線は約束草案提出国。

- *1 Business as Usual で自然体ケースなどと訳し、対策なしの場合をさす。
- *2 排出にみあう吸収あるいは他での削減対策により、正味排出量をゼロにすること。
- *3 GDPあたりCO₂排出量を目標年に基準年比で削減する目標。
- *4 今後の増加を許容。
- *5 中国の2020年排出量はIEA "World Energy Outlook 2009"の推定では、2007年の1.4倍、1990年の3.7倍。インドの2020年排出量はIEA "World Energy Outlook 2009"の推定では「対策なし」に相当、2007年の1.6倍、1990年の3.7倍。
- *6 中国の2030年エネルギー起源CO₂排出量はIEA "World Energy Outlook 2015 気候変動特別号"によれば、原単位目標を満たしても2010年の約1.4倍になる。
- *7 約束草案には書かれていない。
- *8 森林吸収は含まない。
- *9 国際排出枠市場分は含まない
- *10 農業森林を含む。
- *11 国際支援前提
- *12 国際合意前提
- *13 OECD加盟国
- *14 Climate Action Trackerの評価によると、韓国の2030年の温室効果ガス排出量は目標を満たしてもおおむね2005年水準になる。
- *15 Climate Action Trackerの評価によると、メキシコの2030年の温室効果ガス排出量は、目標を満たすと2000年水準、2010年水準からは約20%削減になる。
- *16 Climate Action Trackerの評価によると、チリの2030年の温室効果ガス排出量は原単位目標を満たしても2010年の約1.5倍になる。

表 3-1 新興国・途上国の自国中期気候目標に関する見解（簡略版、ABC 順）*16

国	目標種類	目標				全球気温上昇抑制	備考
		2020	2025 まで	2030 まで	2050 まで		
アフガニスタン	BaU 比*1			▲13.6%*11			
アルバニア	BaU 比			▲11.5%			
アルジェリア	BaU 比			▲22%*11			国際支援無しで▲7%
アンドラ	BaU 比			▲37%		2°C抑制	
アンゴラ	BaU 比			▲50%*11			国際支援無しで▲35%
アルゼンチン	BaU 比			▲30%*11			国際支援無しで▲15%
アルメニア	人口比期間排出量	気温上昇 2°Cを前提に 2015-2050 年の排出許容量を 1990 年の人口を用いた人口比で割り振り。				2°C抑制	
アゼルバイジャン	総量目標			▲35% (90 年比)			
バハマ	再エネ割合			再エネ 30%			排出量目標なし
バングラデシュ	BaU 比			▲15%*11			国際支援無しで▲5%
バルバドス	総量目標		▲21% (08 年比)	▲23% (08 年比)		工業化前比 2°C抑制	
	BaU 比		▲37%	▲44%		工業化前比 1.5°C抑制	
ベリーズ	BaU 比		▲62%*11			1.5°C抑制	エネルギー起源 CO ₂
ベナン	BaU 比			▲21.4%*11*15			国際支援無しで▲3.5%
ボスニアヘルツェゴビナ	総量目標			▲3% (90 年比)*11			国際支援無しで+18%
エボピナ	BaU 比			▲23%*11			国際支援無しで▲2%
ボツワナ	BaU 比			▲15%*11			
ブラジル	総量目標		▲37% (05 年比)	▲43% (05 年比)		工業化前比 2°C抑制	
	BaU 比	▲36.1~▲38.9%*7*10					
ブルネイ	エネ部門				2035 年▲63%		いずれも BaU 比
	陸上交通				2035 年▲40%		
ブルキナファソ	BaU 比			▲18.2%*11			国際支援なしで▲6.6%
ブルンジ	BaU 比	▲11%*11	▲17%*11	▲20%*11			支援無しで▲3% (2030)
カンボジア	BaU 比			▲27%*11			
カメルーン	BaU 比				2035 年▲32%*11		
中央アフリカ	BaU 比		▲5%				
チャド	BaU 比			▲71%*10*11*14			国際支援無しで▲18.2%
チリ*13	GDP 比 CO ₂			▲35~45%*11*15 (07 年比)			国際支援無しで▲30%。森林は別目標
中国	排出ピーク			2030 迄にピーク		2°C抑制のための行動と位置づけ*7	
	GDP 比 CO ₂	▲40~▲45%*5 (05 年比)		▲60~▲65% (05 年比)			
コロンビア	BaU 比			▲30%*10*11			
コモロ	BaU 比	(▲47%)	(▲69%)	▲84%*11			()はポテンシャル
コンゴ	BaU 比		▲48%*11		2035 ▲55%*11		
コンゴ民主共和国	BaU 比			▲17%		工業化前比 2°C抑制	
クック諸島	発電排出			▲81% (06 年比)		工業化前比 1.5°C抑制	
コスタリカ	総量目標			▲25% (12 年比)		工業化前比 2°C抑制	
	BaU 比			▲44%		可能なら 1.5°C抑制	
コートジボワール	BaU 比			▲28%*11			
ジブチ	BaU 比	▲35%*11		▲60%*11		工業化前比 2°C抑制	支援無しで▲40% (2030)
ドミニカ共和国	総量目標			▲25% (10 年比)*11		工業化前比 2°C抑制	
ドミニカ	総量目標	▲17.9%*11 (14 年比)	▲39.2%*11 (14 年比)	▲44.7%*11 (14 年比)			
エクアドル	BaU 比		▲37.5~45.8%*11			工業化前比 1.5-2°C	支援無しで▲20.4~25%
	BaU 人口比		▲40%*11				
赤道ギニア共和国	総量目標			▲20% (10 年比)	▲50% (10 年比)		
エリトリア	BaU 比	▲36.4%*11	▲61.1%*11	▲80.6%*11		工業化前比 2°C抑制	化石燃料起源 CO ₂ 排出量
エチオピア	BaU 比			▲64%*10*11			
フィジー	BaU 比			▲30%*11			国際支援無しで▲10%
ガボン	BaU 比		▲65%*11				
ガンビア	BaU 比		▲44.4%*11*15	▲45.4%*11*15		1.5~2°C抑制	
グルジア	BaU 比			▲25%*11			国際支援無しで▲15%
ガーナ	BaU 比		▲27%*10*11	▲45%*10*11			支援無しで▲15% (2030)
グレナダ	総量目標		▲30% (10 年比)*10	▲40% (10 年比)*10			
グアテマラ	BaU 比			▲22.6%*11			国際支援無しで▲11.2%
ギニア	BaU 比			▲13%*11*15			
ガイアナ	再エネ目標		再エネ 100%*11			工業化前比 1.5°C	
ハイチ	BaU 比			▲26%*11			国際支援無しで▲5%
ホンジュラス	BaU 比			▲15%*11		1.5°C抑制	

表 3-2 新興国・途上国の自国中期気候目標に関する見解（簡略版、ABC 順、その 2）^{*16}

国	目標種類	目標				全球気温上昇抑制	備考
		2020	2025 まで	2030 まで	2050 まで		
インド	GDP 比 CO ₂	▲20～▲25% ^{*6*7} (05 年比)		▲33～▲35% ^{*6*7} (05 年比)			
インドネシア	BaU 比	▲41% ^{*10*11}		▲41% ^{*10*11}		2°C抑制	国際支援無しで▲29%
イラン	BaU 比			▲12% ^{*11}			国際支援無しで▲4%
イスラエル ^{*13}	人口比		▲15% (05 年比)	▲26% (05 年比)			
ジャマイカ	BaU 比			▲10% ^{*11}			国際支援無しで▲7.8%
ヨルダン	BaU 比			▲12.5% ^{*11}			国際支援無しで▲1.5%
ケニア	BaU 比			▲30% ^{*9*10*11}			
キリバス	BaU 比		▲62.5% ^{*11*12}	▲61.8% ^{*11*12}			CO ₂ のみ
キルギスタン	BaU 比			▲29-30.8% ^{*11}	▲35-36.7% ^{*11}	2°C抑制	支援無し▲11.49-13.75%
韓国 ^{*13}	BaU 比	▲30%		▲37%		工業化前比 2°C抑制	
レバノン	BaU 比			▲30% ^{*10*11}			国際支援無しで▲15%
レソト	BaU 比			▲35% ^{*11}		2°C抑制	国際支援無しで▲104%
リベリア	BaU 比			▲15% ^{*11}		2°C抑制	
マケドニア	BaU 比			▲36%		2°C抑制	化石燃料起源 CO ₂ 排出量
マダガスカル	BaU 比			▲14% ^{*11}			他に森林吸収目標
マラウイ	BaU 人口比			▲50%以上 ^{*11}			
マレーシア	GDP 比 CO ₂	▲40% (05 年比)		▲45% (05 年比)			
モルジブ	BaU 比			▲24% ^{*11}			国際支援無しで▲10%
マリ	BaU 比			▲27% ^{*11}			セクター別目標
マーシャル諸島	総量目標	▲40% (09 年比) ^{*7}	▲32% (10 年比) ^{*9*8}	▲45% (10 年比) ^{*9*8}			2020 年目標は CO ₂ 排出量
	カーボンニュートラル				2050 年		
ミクロネシア	総量目標		▲35% ^{*11}				支援無で▲28% (2000 比)
モーリタニア	BaU 比			▲22.3%			
モーリシャス	BaU 比			▲30% ^{*10*11}			
メキシコ ^{*13}	BaU 比	▲30% ^{*11}		▲40% ^{*11}		2°C抑制	含ブラックカーボン
モンゴル	BaU 比			▲14% ^{*11*15}			
モンテネグロ	総量目標			▲30% (90 年比) ^{*10}			
モロッコ	BaU 比	▲16%	▲27%	▲32% ^{*10*11*12}			支援無しで▲13% (2030)
モルドヴァ ^{*4}	総量目標	▲25% (90 比)		▲78% (90 比) ^{*1*14}			支援無しで▲64-67%削減
ナミビア	BaU 比			▲89% ^{*10*11}			
ニジェール	BaU 比	▲25% ^{*11}		▲34.6% ^{*11}		2°C抑制	支援無しで▲3.5% (2030)
ナイジェリア	BaU 比			▲45% ^{*11}			国際支援無しで▲20%
ニウエ	再エネ電力	38%	80% ^{*11}				
オマーン	BaU 比			▲2% ^{*11}			
パラオ	総量目標		▲22%				BaU 比▲50%相当
パラグアイ	BaU 比			▲20% ^{*11}			国際支援無しで▲10%
ペルー	BaU 比			▲30% ^{*10*11}			国際支援無しで▲20%
フィリピン	BaU 比			▲70%			
セントキッツ&ネーヴィス	BaU 比		▲22% ^{*11}	▲35% ^{*11}			
セントルシア	BaU 比		▲16% ^{*11}	▲23% ^{*11}			
セントヴィンセントトグレナディン	BaU 比			▲22% ^{*11}			
サモア	再エネ電力		100%				
サンマリノ	総量目標			▲20% (05 年比)			
サントメ&プリンシペ	BaU 比			▲24% ^{*11}			
セネガル	BaU 比	▲7% ^{*11}	▲15% ^{*11}	▲21% ^{*11}			支援無しで▲5% (2030)
セルビア	総量目標	▲18% (90 年比)		▲9.8% (90 年比)			
セイシェル	BaU 比		▲21.4% ^{*11}	▲29% ^{*11}			
シンガポール	排出ピーク			2030 年			
	GDP 比			▲36% (05 年比) ^{*9}			
	BaU 比	▲16% ^{*7}					
ソロモン諸島	BaU 比		▲27% ^{*11}	▲45% ^{*11}	▲50%以上 ^{*11}	工業化前比 1.5°C抑制	支援無しで▲30% (2030)
南アフリカ	排出ピーク	2020-2025 年にピーク					工業化前比 2°C抑制、
	BaU 比 ^{*7}	▲34% ^{*7}	▲42% ^{*7}				可能なら 1.5°C抑制
スリランカ	BaU 比			▲23% ^{*11}			国際支援なしで▲7%
(台湾)	総量目標	2016-20 に 0% (2008 比)	0% (2000 年比)		▲50% (00 年比)		気候変動枠組条約未加入
タジキスタン	総量目標			▲25～35% (90 年比) ^{*11}		2°C抑制	国際支援無しで▲10-20%

表3-2 新興国・途上国の自国中期気候目標に関する見解（簡略版、ABC順、その3）^{*16}

国	目標種類	目標				全球気温上昇抑制	備考
		2020	2025 まで	2030 まで	2050 まで		
タンザニア	BaU 比			▲10~20% ^{*11}		2°C抑制	
タイ	BaU 比			▲25% ^{*11}			国際支援無しで▲20%
トーゴ	BaU 比			▲31.14% ^{*11}		2°C抑制	国際支援無しで▲11.14%
トンガ	再エネ電力	50%		70%			排出量目標なし
トリニダード バゴ	BaU 比			▲15% ^{*8*11}			
チュニジア	GDP 比 CO ₂			▲41% (10 年比) ^{*11}			国際支援無しで▲13%
トルコ ^{*13}	BaU 比			▲21% ^{*11}			
ツバル	総量削減		▲60%			工業化前比1.5°C抑制	
ウガンダ	BaU 比			▲22% ^{*11}			
UAE (アラブ首長 国連邦)	再エネ割合 (エネルギー)		2021 年に 24%に				排出量目標なし
ウルグアイ	GDP 比 CO ₂			▲40% (90 年比) ^{*11}			ガス・セクター別に目標
ヴァヌアツ	BaU 比			▲30% ^{*11}			電力部門は▲100%
ヴェネズエラ	BaU 比			▲20%			
ヴェトナム	BaU 比			▲25% ^{*11}			国際支援無しで▲8%
	GDP 比 CO ₂			▲30% (10 年比) ^{*11}			
イエメン	BaU 比			▲14% ^{*11}			国際支援無しで▲1%
ザンビア	BaU 比			▲47% ^{*11}			国際支援無しで▲25%
ジンバブエ	BaU 人口比			▲33% ^{*11}			

目標は、とくにことわらない限り温室効果ガス排出量の削減率。下線は約束草案提出国。

*1 Business as Usual で自然体ケースなどと訳し、対策なしの場合をさす。

*2 排出にみあう吸収あるいは他での削減対策により、正味排出量をゼロにすること。

*3 GDP あたり CO₂ 排出量を目標年に基準年比で削減する目標。

*4 旧ソ連諸国、1990 年代前半の経済停滞で温室効果ガス排出量が 2010 年までに 1990 年より大きく減少。各国の目標は今後の増加を許容。

*5 中国の 2020 年排出量は IEA "World Energy Outlook 2009" の推定では、2007 年の 1.4 倍、1990 年の 3.7 倍。インドの 2020 年排出量は IEA "World Energy Outlook 2009" の推定では「対策なし」に相当、2007 年の 1.6 倍、1990 年の 3.7 倍。

*6 中国の 2030 年エネルギー起源 CO₂ 排出量は IEA "World Energy Outlook 2015 気候変動特別号" によれば、原単位目標を満たしても 2010 年の約 1.4 倍になる。

*7 約束草案には書かれていない。

*8 森林吸収は含まない。

*9 国際排出枠市場分は含まない

*10 農業森林を含む。

*11 国際支援前提

*12 国際合意前提

*13 OECD 加盟国

*14 森林吸収を含む。

*15 土地利用変化を除く。

*16 他にサウジアラビア、エジプト、パキスタンなども約束草案を出しているが、自国の温室効果ガス排出目標は挙げていない。

表 4-1 新興国・途上国の自国中期気候目標に関する見解（簡略版、目標種類別）*16

目標種類	該当国	目標					全球気温上昇抑制	備考
		2020	2025 まで	2030 まで	2050 まで	併用指標		
総量目標	モルドヴァ*4	▲25% (90 比)		▲78% (90 比) *11*14				支援無しで▲64-67%削減
	ツバル		▲60% (05 年比)					
	マーシャル諸島	▲40%*7*11 (09 年比)	▲32%*9*11 (10 年比)	▲45%*9*11 (10 年比)	ゼロ	カーボンニュートラル		2020 年目標は CO ₂ 排出量
	ドミニカ	▲17.9%*11 (14 年比)	▲39.2%*11 (14 年比)	▲44.7%*11 (14 年比)				
	ブラジル	▲36.1~▲38.9% (BaU 比) *7	▲37% (05 年比)	▲43% (05 年比)			工業化前比 2°C 抑制	
	ミクロネシア		▲35%*11 (00 年比)					支援無しで▲28%
	グレナダ		▲30%*10 (10 年比)	▲40%*10 (10 年比)				
	アゼルバイジャン			▲35% (90 年比)			2°C 未満抑制	
	モンテネグロ			▲30% (90 年比) *10				
	タジキスタン			▲25-35% (90 年比) *11			2°C 未満抑制	国際支援無しで▲10-20%
	ドミニカ共和国			▲25% (10 年比) *11			工業化前比 2°C 抑制	
	コスタリカ			▲25% (12 年比)			工業化前比 2°C 抑制、可能なら 1.5°C 抑制	
	パラオ		▲22% (05 比)					BaU 比 ▲50% 相当
	バルバドス		▲21% (08 比)	▲23% (08 年比)		BaU 比	工業化前 1.5°C 抑制	
	サンマリノ			▲20% (05 年比)				
	赤道ギニア共和国			▲20% (10 年比)	▲50% (10 年比)			
	セルビア	▲18%		▲9.8% (90 年比)				
	ボスニアヘルツェゴビナ			▲3% (90 年比)		BaU 比		国際支援無しで+18%
	(台湾)	2016-20 に 0% (2008 比)	0% (2000 比)		▲50% (2000 比)			気候変動枠組条約未加入
	その他	ナミビア			▲89%*10*11			
コモロ		(▲47%)	(▲69%)	▲84%				() はポテンシャル
エリトリア		▲36.4%*11	▲61.1%*11	▲80.6%*11			工業化前比 2°C 抑制	化石燃料起源 CO ₂ 排出量
チャド				▲71%*10*11*14				国際支援無しで▲18.2%
フィリピン				▲70%*11				
エチオピア				▲64%*10*11				
ガボン			▲65%*11					
ベリーズ				▲62%*11			1.5°C 抑制	エネルギー起源 CO ₂
キリバス			▲62.5%*11*12	▲61.8%*11*12				CO ₂ のみ
ジブチ		▲35%*11		▲60%*11			工業化前比 2°C 抑制	支援無しで▲40% (2030)
アンゴラ				▲50%*11				国際支援無しで▲35%
コンゴ			▲48%*11		2035 ▲55%*11			
ザンビア				▲47%*11				国際支援無しで▲25%
ガンビア			▲44.4%*11*15	▲45.4%*11*15			1.5~2°C 抑制	
ソロモン諸島			▲27%*11	▲45%*11	▲50%以上*11		工業化前 1.5°C 抑制	支援無しで▲30% (2030)
ガーナ			▲27%*10*11	▲45%*10*11				支援無しで▲15% (2030)
ナイジェリア				▲45%*11				国際支援無しで▲20%
エクアドル			▲37.5~45.8%*11			BaU 比人口比	工業化前比 1.5~2°C 抑制	国際支援無しで▲20.4~25%
バルバドス			▲37%	▲44%		総量目標	工業化前 1.5°C 抑制	
コスタリカ				▲44%		総量目標	工業化前比 2°C 抑制、可能なら 1.5°C 抑制	
インドネシア		▲41%*10*11		▲41%*10*11			2°C 抑制	
南アフリカ		▲34%*7	▲42%*7			排出ピーク	工業化前比 2°C 抑制、可能なら 1.5°C 抑制	
メキシコ*13		▲30%*11		▲40%*11			2°C 抑制	含ブラックカーボン
韓国*13		▲30%		▲37%			工業化前比 2°C 抑制	
アンドラ				▲37%			2°C 抑制	
マケドニア				▲36%			2°C 抑制	化石燃料起源 CO ₂ 排出量
セントキッツ & ネイビス		▲22%*11	▲35%*11					
レソト			▲35%*11			2°C 抑制	国際支援無しで▲104%	
ニジェール	▲25%*11		▲34.6%*11			2°C 抑制	支援無しで▲3.5% (2030)	
モロッコ	▲16%	▲27%	▲32%*10*11*12				支援無しで▲13% (2030)	

表 4-2 新興国・途上国の自国中期気候目標に関する見解（簡略版、目標種類別その2）^{*16}

目標種類	国名	目標					全球気温上昇抑制	備考	
		2020	2025 まで	2030 まで	2050 迄	併用指標			
その他	トーゴ			▲31. 14% ^{*11}			2°C抑制	国際支援無しで▲11. 14%	
	キルギスタン			▲29-30. 89% ^{*11}	▲35-36. 75% ^{*11}		2°C抑制	支援無し▲11. 49-13. 75%	
	ヴァヌアツ			▲30% ^{*11}				電力部門は▲100%	
	コロンビア、ペルー			▲30% ^{*10*11}				国際支援無しで▲20%	
	アルゼンチン、レソト			▲30% ^{*10*11}				国際支援無しで▲15%	
	フィジー			▲30% ^{*11}				国際支援無しで▲10%	
	ケニア、モーリシャス			▲30% ^{*10*11}					
	セイシェル		▲21. 4%	▲29% ^{*11}					
	コートジボワール			▲28% ^{*11}					
	マリ			▲27% ^{*11}				セクター別の目標	
	カンボジア			▲27% ^{*11}				森林は別目標	
	ハイチ			▲26% ^{*11}				国際支援無しで▲5%	
	ヴェトナム			▲25% ^{*11}		GDP 比		国際支援無しで▲3%	
	タイ			▲25% ^{*11}				国際支援無しで▲20%	
	グルジア			▲25%				国際支援無しで▲15%	
	モルジブ			▲24% ^{*11}				国際支援無しで▲10%	
	サントメプリンシペ			▲24% ^{*11}					
	セントルシア		▲16% ^{*11}	▲23% ^{*11}					
	スリランカ			▲23% ^{*11}				国際支援無しで▲7%	
	ボスニアヘルツェゴビナ			▲23% ^{*11}		総量目標		国際支援無しで▲2%	
	グアテマラ			▲22. 6% ^{*11}				国際支援無しで▲11. 2%	
	モーリタニア			▲22. 3%					
	アルジェリア			▲22% ^{*11}				国際支援無しで▲7%	
	ウガンダ、セントヴィンセントグレナディン			▲22% ^{*11}					
	BaU 比 (続き)	ベナン			▲21. 4% ^{*11*15}				国際支援無しで▲3. 5%
		セネガル	▲7% ^{*11}	▲15% ^{*11}	▲21% ^{*11}				支援無しで▲5% (2030)
		トルコ ^{*13}			▲21% ^{*11}				
		ヴェネズエラ			▲20%				
		パラグアイ			▲20% ^{*11}				国際支援無しで▲10%
		ブルンジ	▲11% ^{*11}	▲17% ^{*11}	▲20% ^{*11}				支援無しで▲3% (2030)
		ブルキナファソ			▲18. 2% ^{*11}				国際支援なしで▲6. 6%
		コンゴ民主共和国			▲17%			工業化前比2°C抑制	
		バングラデシュ			▲15% ^{*11}			工業化前比2°C抑制 可能なら1.5°C抑制	国際支援無しで▲5%
		ホンジュラス			▲15% ^{*11}			1.5°C抑制	
		リベリア			▲15% ^{*11}			2°C抑制	
		トリニダードトバゴ			▲15% ^{*8*11}				
		ボツワナ			▲15% ^{*11}				
		イエメン			▲14% ^{*11}				国際支援無しで▲1%
		モンゴル			▲14% ^{*11*15}				
		マダガスカル			▲14%				他に森林吸収目標
		アフガニスタン			▲13. 6% ^{*11}				
		ギニア			▲13% ^{*11*15}				
		ヨルダン			▲12. 5% ^{*11}				国際支援無しで▲1. 5%
		イラン			▲12% ^{*11}				国際支援無しで▲4%
		アルバニア			▲11. 5%				
	タンザニア			▲10~20% ^{*11}			2°C抑制		
	ジャマイカ			▲10% ^{*11}				国際支援無しで▲7. 8%	
	カメルーン				▲32% ^{*11}			2035 年目標	
	中央アフリカ			▲5%	▲25%		2°C抑制		
	オマーン			▲2% ^{*11}					
カーボンニュートラル ^{*2} 達成年次	マーシャル諸島				2050 年	総量目標			
人口比	イスラエル ^{*13}		▲15% (05 年比)	▲26% (05 年比)					
人口比期間排出量	アルメニア	気温上昇 2°Cを前提に 2015-2050 年の排出許容量を 1990 年の人口を用い人口比で割り振り。					2°C抑制		
BaU 人口比	マラウイ			▲50%以上 ^{*11}					
	エクアドル			▲40% ^{*11}					
	ジンバブエ			▲33% ^{*11}					

表 4-2 新興国・途上国の自国中期気候目標に関する見解（簡略版、目標種類別その 2）^{*16}

目標種類	国名	目標					併用指標	全球気温上昇抑制	備考	
		2020	2025 まで	2030 まで	2050 迄					
GDP 原単位 ^{*3}	中国	▲40～▲45% ^{*5} (05 年比)		▲60～▲65% (05 年比)			排出ピーク		2°C抑制のための行動と位置づけ ^{*7}	
	チュニジア			▲41%(10 年比) ^{*11}					国際支援無しで▲13%	
	マレーシア	▲40%(05 年比)		▲45%(05 年比)					支援無しで▲35%	
	シンガポール			▲36%(05 年比)			排出ピーク			
	チリ ^{*13}			▲35～▲45% (07 年比) ^{*11*15}					国際支援無しで▲30%。森林は別目標。	
	インド	▲20～▲25% ^{*6*7} (05 年比)		▲33～▲35% (05 年比)						
	ヴェトナム			▲30%(10 年比) ^{*11}			総量目標			
	排出ピーク	南アフリカ	2020～2025 年にピーク					BaU 比 ^{*7}	工業化前比 2°C抑制、可能なら 1.5°C抑制	
		中国			2030 年まで			GDP 比 CO ₂		
		シンガポール			2030 年まで			GDP 比		
	部門別等 その他	サモア	2017 年に電力を 100%再エネ							支援なしで 2025 年に電力 100%再エネ
		ガイアナ		再エネ 100%					工業化前比 1.5°C	
		カボヴェルデ		電力を 100%再エネ					工業化前 1.5-2°C	
		ニウエ	再エネ電力 38%	再エネ電力 80% ^{*11}						
クック諸島				発電排出▲81% ^{*11} (06 年比)				工業化前比 1.5°C		
トンガ		再エネ電力 50%		再エネ電力 70%					排出量目標なし	
パハマ				再エネ 30%					排出量目標なし	
UAE(アラブ首長国連邦)			再エネ割合 2021 年に 24%						排出量目標なし	
ウルグアイ				GDP 比 CO ₂ ▲40% (90 年比) ^{*11}					ガス・セクター別に目標	
ブルネイ					2035 年にエネ GHGBaU 比▲63% 陸上交通GHGBaU 比▲40%					

目標は、とくにことわらない限り温室効果ガス排出量の削減率。下線は約束草案提出国。

- *1 Business as Usual で自然体ケースなどと訳し、対策なしの場合をさす。
- *2 排出にみあう吸収あるいは他での削減対策により、正味排出量をゼロにすること。
- *3 GDP あたり CO₂排出量を目標年に基準年比で削減する目標。
- *4 旧ソ連諸国、1990 年代前半の経済停滞で温室効果ガス排出量が 2010 年までに 1990 年より大きく減少。各国の目標は今後の増加を許容。
- *5 中国の 2020 年 CO₂排出量は IEA “World Energy Outlook 2009”の推定では、2007 年の 1.4 倍、1990 年の 3.7 倍。インドの 2020 年排出量は IEA “World Energy Outlook 2009”の推定では「対策なし」に相当、2007 年の 1.6 倍、1990 年の 3.7 倍。
- *6 中国の 2030 年エネルギー起源 CO₂排出量は IEA “World Energy Outlook 2015 気候変動特別号”によれば、原単位目標を満たしても 2010 年の約 1.4 倍になる。
- *7 約束草案には書かれていない。
- *8 森林吸収は含まない。
- *9 国際排出枠市場分は含まない
- *10 農業森林を含む。
- *11 国際支援前提
- *12 国際合意前提
- *13 OECD 加盟国
- *14 森林吸収を含む。
- *15 土地利用変化を除く。
- *16 他にサウジアラビア、エジプト、パキスタンなども約束草案を出しているが、自国の温室効果ガス排出目標は挙げていない。